

経営比較分析表（平成30年度決算）

広島県北広島町 北広島町豊平病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	6	-	-	-
人口(人)	建物面積(mf)	不採算地区病院	看護配置	
18,780	3,529	第2種該当	13:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
44	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	44
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
37	-	37

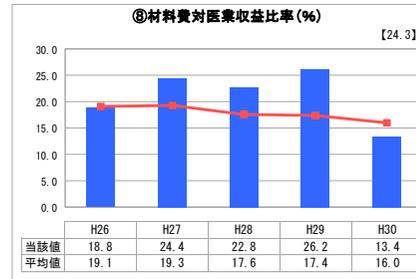
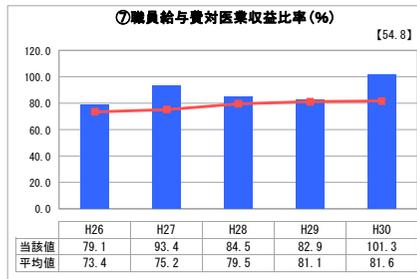
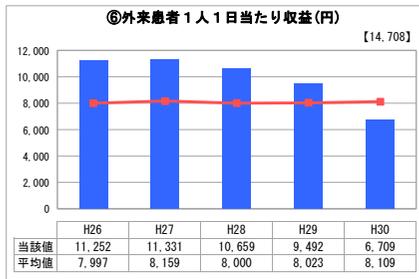
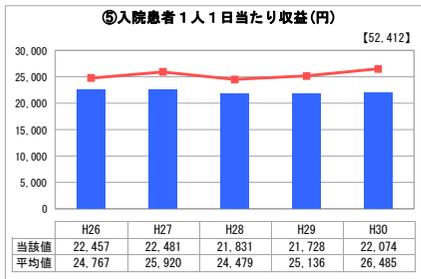
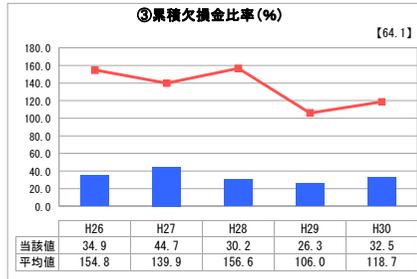
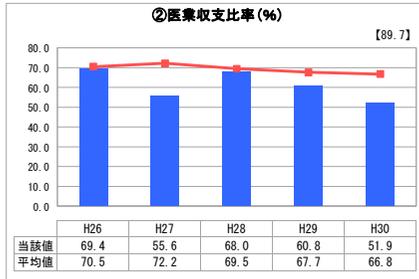
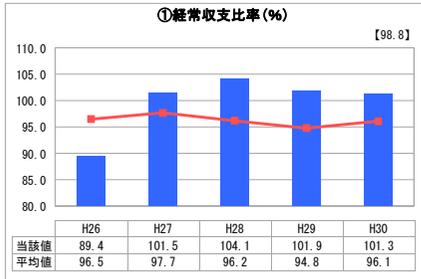
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

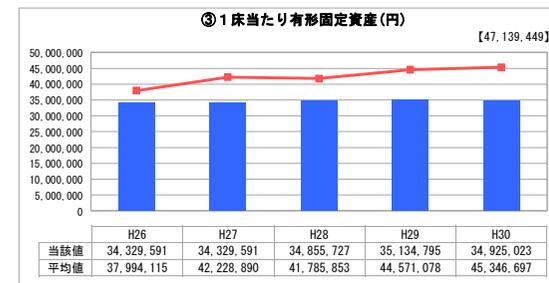
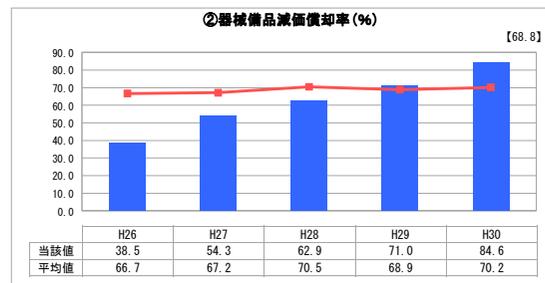
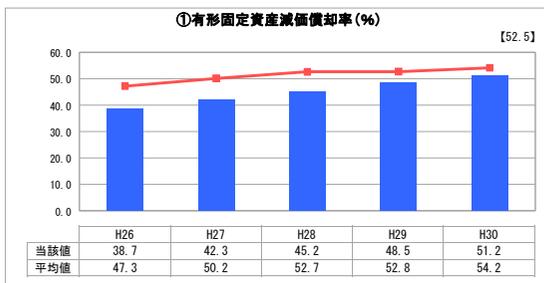
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	平成28年度

I 地域において担っている役割

豊平地域唯一の医療機関であり、地域住民のかりつけ医としての役割がある。豊平地域の高齢化率は49.8%(H31.3月末)であることから、受診する患者層の多くが高齢者であり、整形外科の治療に加え、リハビリ機能を充実させることで寝たきり予防、介護予防に取り組んだ。また、公共交通(バス)の乗降拠点であることや受診に際し買い物等を行うなど生活を支える拠点となっている。併せて、近隣に特別養護老人ホームや歯科医療機関があり、医療介護の連携も求められている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

指定管理料で赤字補てんをしているため経常収支比率は100%を超えている。平成30年12月に平成31年4月から診療所への経営形態転換の方向性を出し、1月から計画的に入院患者数を制限し3月には完全閉鎖した。そのため、医療収支比率は病棟閉鎖の影響もあり平成29年度の60.8%から51.9%に低下した。病床利用率は、病棟廃止が決まり51.1%にとどまり、5年連続で70%を下回った。地域医療を守るための指定管理者制度を平成28年度から導入し、管理者とともに健全経営を目指したが、経営の健全化には至らなかった。

2. 老朽化の状況について

平成14年の開院から17年が経過しており、今後、建物や空調設備、ガス設備などに大規模な修繕・更新が必要である。また、医療機器備品についても、更新が必要となる。

全体総括

医療収益以上に、人件費や経費などの費用が増え、一般会計からの多額な繰入れは必要なままで、効率的な経営とはならなかった。翌年度以降の経営の健全化に向けた経営計画を立てられないことや、今後の町の財政状況や人口減少も踏まえ、平成31年4月1日から無床診療所に変更することとした。広島圏域北西部地域の医療機関との連携と機能分化により、地域完結型医療の中で、豊平地域の医療を将来にわたり確保する。